

埼玉県 Minjikyō Dayori

# 民児協だより

Your smile makes everyone happy



写真/三ツ峠山から撮影した富士山 (撮影者: 埼玉県民生委員・児童委員協議会会長 大谷 富夫 氏)

日本最高峰の富士山 (3376メートル)、その優美な姿は日本の象徴として仰がれ、広く海外にも知られ、親しまれています。今年も誰にも優しく、誰にも愛され、私たちの心の糧になることでしょう。

## 目次

- 2p ..... 令和4年 知事年頭挨拶
- 3p ..... 令和4年 会長年頭挨拶
- 4p~5p ..... 令和3年度全国民生委員児童委員大会参加報告  
令和3年度栄典及び各種表彰受章者等の紹介
- 6p~7p ..... 令和3年度ブロック別市町村民生委員・児童委員  
協議会会長連絡会議開催報告
- 8p~9p ..... 部会活動紹介—主任児童委員部会—  
リモートを併用した研修を実施
- 10p~11p ... 市町村民児協の課題や改善の取組
- 12p ..... 県民児協事務局紹介、Topics、主な予定、編集後記



県民児協  
ホームページも  
ご活用ください!



▶▶ <http://www.saitama-minjikyō.or.jp>

埼玉県民児協だよりでは、「民生委員・児童委員協議会」を「民児協」と表記しています。



この広報紙は、共同募金の配分金により発行されています。

# 未来につなぐ、 日本一暮らしやすい埼玉の実現へ



## 埼玉県知事 大野 元裕

明けましておめでとうございます。

民生委員・児童委員の皆様には、健やかに令和4年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスの感染拡大が続き、様々な活動が制限された一年でした。

そのような中、皆様方におかれましては、人とつながるためにそれぞれ工夫を凝らした民生委員・児童委員活動を実践していただき、心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の流行は、世の中の在り方を一変させましたが、先人たちが力強く埼玉県を発展させてきたように、埼玉150周年を契機に、より良い埼玉へと新しい一歩を記していくという強い決意の下、新年を迎えました。

皆様には、感染症対策への格別の御理解と御協力をいただき、改めてお礼を申し上げます。今後の感染再拡大に備え、引き続き、強い危機感と緊張感を持ちつつ、ポストコロナを見据え、感染症と共存できる強い埼玉県経済を構築してまいります。

本県は今、新しい生活様式や新たな社会への変革、今後迎える人口減少・超高齢社会など大きな変化の時期を迎えています。

私は、激動の時代に未来を切り開いてきた渋沢栄一翁の高い志と不屈の精神を受け継ぎ、誰一人取り残さない「埼玉版SDGsの実現」に向け、自らの信念を貫き、全力で取り組んでまいります。

さて、県では埼玉県DX推進計画に基づき、昨年12月に具体的な取組や工程を示すロードマップを策定しました。社会全体のデジタル・トランスフォーメーション（DX）の実現は、産業や暮らしに大きな変革をもたらし、生活をより安心・安全、便利で、豊かに変えるとともに、様々な課題を解決する大きな可能性を秘めています。今後、官民間問わず様々な分野で変革を促すDXを重点的に推進してまいります。

また、東京2020大会のレガシーとして、更なるスポーツの振興や国際交流、ひいては共生社会の実現などを次代へつないでまいります。昨年11月の県主催のポッチャ大会に私も参加しましたが、障害の有無に関わらず楽しめるスポーツです。このような取組を通して互いを理解し、共に支え合う気運が高まることを期待しています。

今年の干支「寅（虎）」にあやかり力強く勇気を持って、皆様とともに「ワンチーム埼玉」で、誰もが自分らしく活躍できる「日本一暮らしやすい埼玉」を目指してまいります。

# 地域と共有する活動を 皆様とともに

一般財団法人埼玉県民生委員・児童委員協議会

会長 大谷 富夫



謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

埼玉県民生委員・児童委員、主任児童委員の皆様には、ご健勝にて新年を迎えられ心よりお慶びを申し上げます。

コロナに開けコロナに暮れた昨年ほど新型コロナウイルスの脅威を地域活動の中で身近に感じたことはありませんでした。各地域で活躍をいただいている委員さんの中にも私と同じ思いをなされた多くの方がいらっしゃったと思います。

委員活動を続ける中で、改めて公衆衛生の大切さを思い、健康維持を続けるための努力と、それらの研鑽はアフターコロナに対して、地域共有し得る活動状態をどのように具現化できるかを皆様と考えていきたいと思っております。

さて、埼玉県民児協ではご承知の通り4部会の活動が盛んに行われています。

この広報を始めとした「広報部会」、市町村にある地区民児協応援目的の「地区民児協支援部会」、福祉全般に関する委員研鑽目的の「研修部会」、更には62市町村選出の主任児童委員が組織する「主任児童委員部会」があります。

広報部会は「特集 渋沢栄一翁」を始め「埼玉県民児協だより」とHPの充実、今年から具体化を目指すローカルFM局参画、主任児童委員部会は4分科会に分かれ、それぞれのテーマに沿いリモートを含めた活動形態、地区民児協支援部会は全国で展開中の「地域版活動強化方策」や行政が行っている「生活支援体制整備事業」を踏まえた地区支援、研修部会では委員さんに対する研修の在り方はもとより、内容的に福祉は基本ですが少しキャパを広げた研修も期待するところであり、形も受動的に捉われず能動的であって欲しいと思っています。

各市町村会長さんにはそれぞれの部会に所属してもらいご活躍をいただいている所ですが、各部会の特色がこの1年に輝きを増し、各市町村民児協の隅々まで光満つることを願っています。

少なからずアトム化に向おうとしている社会において民生委員・児童委員、主任児童委員の存在は多方面から期待されていくと思います。

結びに今年は改選時期を迎えますが条件が許す限り継続をお願い致すと共に、この1年のご健康にご留意頂き益々のご活躍をご祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 参加報告 令和3年度

## 「第90回全国民生委員児童 委員大会」が開催されました。

令和3年10月26日～27日、京都府京都市「京都パルスプラザ」等において、標記大会が開催されました。

参加者は、新型コロナウイルス感染症の影響で各道府県・指定都市民児協会長と事務局、そして京都府・京都市の民生委員・児童委員等の約1,000名となりました。本会からは、大谷会長、事務局職員2名が参加しました。また、2日目に予定されていた活動交流集会はリモート収録が行われ、本会の芝波田副会長が第6分科会において発表しました。



オープニング  
南観音山保存会（祇園囃子）



開会あいさつ

式辞

京都府民生委員  
児童委員協議会  
会長

全国民生委員  
児童委員連合会  
会長

本郷 俊明 氏  
得能 金市 氏



主催者あいさつ

厚生労働大臣

後藤 茂之 氏

大会1日目は、式典、特別講義、大会宣言の採択等が行われました。

特別講義

これからのコミュニティの課題

京都市立芸術大学 鷺田 清一 名誉教授



アトラクション 福知山踊振興会・福知山淑徳高等学校 和太鼓部

大会2日目は、「京都市勸業館みやこめっせ」においてシンポジウムが行われました。

ルーター学院 大学市川一宏教授・学術顧問をコーディネートに、3人のシンポジストを迎え「共生社会の実現と民生委員・児童委員活動」新型コロナウイルス禍を踏まえて考える「テーマ」に実施されました。



シンポジウム

大会の式典及びシンポジウムは、全国民生委員児童委員連合会のホームページで動画配信されます。活動交流集会についても、同ホームページで収録したものが配信されます。



出迎え

## 生活困窮世帯への支援と

### 民生委員・児童委員活動

埼玉県民生委員・児童委員協議会

副会長 芝波田 静香 氏

川越市では、地域福祉計画の中で、日常生活の困りごとを支える「地域福祉サポートシステム」が構築されており、この仕組みが民生委員・児童委員活動の中でも生かされている事例です。

特別支援学校を卒業、軽度の発達障害と統合失調症の措置入院歴もあり、糖尿病を患っている60代女性（A）の世帯。60代夫は3年前に勤務中の指のケガ以来、就労せず、親子関係が悪くネットカフェで生活する30代介護職の娘の援助と、近所の方の物的・金銭支援で生活していましたが、令和3年2月にはライフラインも全て停止、冷蔵庫・洗濯機・エアコンもなく、長い間ゴミ屋敷状態でした。

こうした中、Aさんは裸で近所を徘徊、近隣住民と民生委員・児童委員からの相談でCSW（コミュニティ・ソーシャルワーカー）が介入し、ライフラインの復旧と健康状態の改善に取り組みますが、国民健康保険も未加入でした。

3月に状況は急変、妻の異変に気付いた夫が民生委員・児童委員宅へ駆け込み、救急搬

送されますが、褥瘡も発生し、かなり進行した状態で衰弱度は深刻でした。入院治療継続の援助策として、病院の相談員と生活福祉課ケースワーカーの検討により生活保護の申請。併せて、夫を就労支援のため自立相談支援センターへつなぎ、娘は社協より生活福祉資金の貸付を受け転居しました。

6月退院後、在宅生活を希望。糖尿病による網膜症の悪化もあり、自立支援、医療受給障害者総合支援法による福祉サービスの利用、障害者手帳の取得と障害年金の受給を目指すと共に、週3回の訪問看護をはじめ、週1回のデイサービスと月2回の受診に向け、行政や多機関の連携した支援により生活の立て直しを図っております。また、この世帯の身近な存在として民生委員・児童委員や近隣住民、そして社協のCSWが世帯に寄り添う形でこの支援体制のコーディネートしております。今回の事例のように、SOSを出したのは近隣住民で、そこには地域ぐるみで支援を考える意識があり、その支援の最前線には民生委員・児童委員の献身的な活動がありました。そのうえで、それを支える専門職の連携が重要だと言えます。

私たち民生委員・児童委員は、地域の課題や悩みごとを行政や社協、福祉関係機関へしっかりつないでいく地域のアンテナ役としても、重要な役割を担っているのではないのでしょうか。

## 令和3年度栄典及び各種表彰受章者等の紹介

(敬称略)

### 【春秋叙勲・褒章受章者】

瑞宝単光章

【民生委員功労】

本庄市

齋藤 京子(春)

飯能市

岡田 鈴江(秋)

【警察功労】

鶴ヶ島市

伊藤 幸雄(秋)

瑞宝双光章

【更生保護功労】

三郷市

河野 洋子(春)

戸田市

金子 篤徳(春)

【警察功労】

新座市

小柴 義勝(春)

東松山市

松島 信一(春)

桶川市

谷 健治(春)

【教育功労】

久喜市

桐川 弘子(春)

【防衛功労】

入間市

江口 哲郎(秋)

藍綬褒章

【民生委員功労】

松伏町

今井しげ子(秋)

【更生保護功労】

毛呂山町

森澤美智子(秋)

【厚生労働大臣表彰】

【民生委員功労】

深谷市 齋藤 和子

草加市 清田 幸子

朝霞市 土佐 隆子

春日部市 石川 久子

上尾市 鮫嶋 紀子

上尾市 大場 玲子

【民生委員優良活動団体表彰】

蓮田市第五地区民生委員・児童委員協議会

「平野地区こども夏祭り／平成22年4月1日から現在に至る」

# 童委員協議会会長連絡会議 開催報告

残念ながら中止となりました。今年も懸念されましたが、コロナの感染者が減少し、た。それぞれの会場で今後の部会活動について活発な意見交換がされました。

## 東

令和3年11月25日  
越谷市中央市民会館

において、東部ブロック市町村民児協会長連絡会議が開催されました。当番市の越谷市民児協齊藤会長、県民児協大谷会長のあいさつの後、越谷市福田晃市長の歓迎のごあいさつをいただき、研修、広報、地区民児協支援、主任児童委員部会とそれぞれの部会ごとに分かれて会議がスタートしました。

「部会の今後について」を議題に、45分間の討議の後、各部会の結果発表を行いました。

### 〔研修部会〕

コロナ禍での活動の難しさの解決方法としてリモート研修の導入。

### 〔地区民児協支援部会〕

一斉改選時に欠員を出さないための方策や民生委員・児童委員の推薦方法について。

### 〔広報部会〕

5月の「民生委員・児童委員の日」に合わせて期間中に各地に開設されているFMコミュニティ放送局を利用した



広報を実施します。

### 〔主任児童委員部会〕

ヤングケアラーや不登校問題等について。

コロナ禍での2年ぶりのブロック別会長会議で大いに議論が沸きましたが、他の部会との席が近くて話が聞きづらかったこと、討議時間が短かったことがとても残念でした。

しかし、非常に和やかに、各地区の会長と有意義な時間を過ごすことができたことを感謝いたします。

(八潮市 篠木 猛)

## 西

令和3年11月9日  
東松山市総合会館に

において、西部ブロック会長連絡会議が開催されました。当番市の東松山市民児協金杉会長、県民児協大谷会長のあいさつ、また、ご来賓にお迎えした副市長賛田美行氏にごあいさついただきました。各部会ごとに今後の活動について意見を出し合いました。

### 〔研修部会〕

●今年度は、「コロナ禍における貧困問題・見守り活動」をテーマに、1月下旬頃、62市町村民児協会長を対象にした研修会を実施し、その模様を録画して各市町村へ配布する予定です。

●他の部会とも連携を図りながら、研修を企画していきます。

### 〔地区民児協支援部会〕

●今年度は、各市町村民児協が抱えている課題について話し合いました。

●「定数確保」が一番の問題で、会長会などでも話し合っています。

### 〔広報部会〕

●今年度より4チームに分か

れて活動をしています。

●FM活用については、今後も話し合いを続けていきます。

●ホームページのリニューアルも継続課題とします。

### 〔主任児童委員部会〕

●今年度は、人数も増え、活発な意見が出されました。

●リモートを活用した研修会を開催しました。

●今後は複数の分科会での合同研修も予定しています。

コロナ感染症に左右されながらも、各部会、委員全員が集まれない中、少しずつですが動き出しています。

(狭山市 藤野美佐子)



昨年度は、コロナ感染者の増加とそれと同時に緊急事態宣言が発令されたためにいろいろなところでの人数制限などが緩和され、本年度は開催することができまし

令和3年11月15日、北本駅から桜並木の道を経て約10分、北本市役所に隣接する北本市文化センターで開催されました。

北本市民児協岡野会長、県民児協大谷会長、北本市吉野一副市長のごあいさつの後、4部会に分かれて「部会の今後について」の協議が行われました。

## 【研修部会】

●部会内でグループ分けをして、研修に関する検討を行い、意見を吸収していきます。

## 【地区民児協支援部会】

●民生委員の仕事を見直すため、アンケートを実施していきたいです。

●包括支援センター、役所との関りを整理していきたいです。

●1〜2期で辞める委員が多いので、続けられるようにしていきたいです。

## 【広報部会】

●4グループに分けての広報活動はよかったです。

●FM放送エリア外への対策は、別の手段を考えていきます。

## 南

●ケーブルテレビの利用も考えたいが、

コスト面が課題となります。

●大学の福祉関係学部など、若い人への広報活動も考えていきます。

## 【主任児童委員部会】

●主任児童委員のPR方法を各委員が持ち寄り、基本形を作っていくたいです。

●学校に入っていくため、教育委員会との関係づくりが必要です。

前述の発表内容から、各部会員の熱意を感じました。一斉改選まで約1年、4部会の更なる進展を期待します。

(三郷市 志子田健一)



令和3年11月22日、熊谷市立商工会館において、北部ブロック市町村民児協会長連絡会議が開催されました。開催当番市の熊谷市民児協寺田会長、県民児協大谷会長のあいさつ、ご来賓にお迎えした植原利和福祉部長にごあいさついただきました。その後、今回のテーマ「部会の今後について」研究協議しました。

## 【研修部会】

●62市町村民児協会長を対象に研修を行います。内容は「コロナ禍における貧困問題、見守り活動」です。

●動画視聴の研修も必要と思われるため、DVDに収録して配布を計画します。視聴時間は40分以内が望まれます。

## 【地区民児協支援部会】

●各市町村民児協会長より、定数確保についてアンケートの内容は検討します。

●民生委員・児童委員としての仕事が増えました。

●行政の連絡事項が県内まちまちです。

## 北

●特集渋沢栄一翁を刊

行しましたが、県内には他にも偉人がいるので、県民協だよりに掲載してもいいかと思えます。

●来年5月、FMコミュニティラジオでPRを計画、内容は統一し、放送エリア外の地域は広報で紹介します。

●ホームページをリニューアルするためアンケートをお願いします。

## 【主任児童委員部会】

●学校と連携したいが守秘義務があり難しい、県や教育委員会、学校などに関わりを多く持つことが子どもの状況把握につながり地域の安心安全につながってきたいです。

コロナ禍の中、北部ブロック会長会議が開催され、皆さんが有意義な時間だったと思います。熊谷市生活福祉課の皆さんありがとうございました。

(秩父市 宮下 昭)



# 部会活動紹介

## 主任児童委員部会

主任児童委員部会は、課題に応じて4つの分科会を設置し、専門機関・団体と連携し、情報を集め、全ての委員が共有できる環境を整えました。今回は、分科会3の意見交換会と部会全体の研修会の開催の報告をいたします。また、県民児協で初めてリモートを併用して行いました。リモート参加の様子についてもご紹介いたします。

### 分科会3

## 埼玉県福祉部「子ども

## 安全課との意見交換会

令和3年10月13日（水）、埼玉県福祉部子ども安全課 児童虐待対策幹の鈴木健一様、児童虐待対策担当主任の廣瀬文章様をお招きして『児童虐待についての意見交換会』を行いました。

前半はこども安全課より「児童虐待の対策と課題」のお話をいただきました。児童虐待とは何か？から始まり、児童虐待の定義、具体例、埼玉県内の相談対応件数、虐待の動機・背景などについてのこと。そして、市町村と児相の役割分担や主任児童委員に求められる役割についてもお話をいただきました。細かな資料を提示していただき、勉強になりました。主任児童委員全員で聞きたいお話でした。

後半は意見交換ということで、

それぞれの抱えている問題について意見が交わされましたが、

「連携」と「予防」という二点がキーワードだと感じました。こ



意見交換会の様子

どもに関わる幾多の機関がいかに連携できるかがとても大切です。

「繋ぐ」役目の私たち主任児童委員がどれだけそこに関わっているかがこれからの課題だと思われ

ます。そして、「予防」。埼玉県の現状を見ても、相談件数は増加の一途です。児相や市町村の支援課も対応が追いつかない印象を受けます。虐待に至る前の支援が不可欠と考えます。予防に携わっている機関に主任児童委員も連携協力し、地

域に即した方法で児童虐待を予防できたと思います。

今後、この分科会でも「連携」「予防」について話し合い、虐待防止の一助となる活動を目指します。

### リモート意見交換について

（対面参加者14名、リモート参加者5名）

今回、初めて「対面とリモート併用の会議」を経験しました。事務局のご苦勞のおかげで、スムーズに会議が進んだと思います。

全県から委員が出てくるということ、各自多忙であるということから、「リモートなら参加できる」場合が多々ありますので、この形の会議はともありがたいです。

別の分科会にリモートで参加いたしました。ストレスなく、視聴や発言ができました。この形式が定着することを希望します。

（主任児童委員部会

副部会長 杉浦 裕美）

### リモート参加者の感想

日高市は電車の本数も少なく主任児童委員全員が仕事をしているため、会場までの片道1時間30分を省くことのできるZOOM参加は助かりました。今後この様な形で参加ができれば、仕事との両立をする上で負担が軽減されとても助かります。

（日高市 岡崎 三千代）



リモートの様子

# ヤングケアラー研修会



一般社団法人  
彩の国子ども・若者  
支援ネットワーク  
代表理事  
土屋 匠宇三 氏

## 初めての主任児童委員部会 「全体研修」の開催

県内各地区の主任児童委員の方  
が課題に応じて4つの分科会「認  
知度アップ」「不登校」「児童虐待」  
「ヤングケアラー」に分かれて活動  
をスタートしています。

主任児童委員部会の最初の全体  
研修は分科会4「ヤングケアラー問  
題」について、令和3年10月29日  
(金)に、一般社団法人彩の国子ども・  
若者支援ネットワーク代表理事の土  
屋 匠宇三(つちや しょうぞう)様を  
お招きしてテーマ『今を生きる子供  
たちへ共感と希望を』の講義を聴講  
しました。オブザーバーとして県民  
児協の大谷会長、県社協の鈴木事  
務局長にもご参加いただきました。



グループごとの  
意見交換の様子

最近、大きく  
クローズアップ  
されているヤン  
グケアラー問題  
は昔から存在していましたが、実  
態が未だに不明な部分が多く、ま  
ず、委員全員を対象にして、皆で  
知ることから始めることとしまし  
た。講義の後に、県内各市町村で  
活動をされている支援員の方ごと  
の7つのグループに分かれて「子  
供の困ったをみんなの困ったに」  
をテーマに意見交換会を行いました。  
地域の支援員の方を知る良い  
機会にもなりました。



## 対面とリモートの 併用した参加方法

(対面参加者24名、リモート参加者13名)

この全体研修は、参加方法を「対  
面」と「ZOOM」と、初めてリ

モート参加を取り入れて行いまし  
た。13名の委員の方が環境の整っ  
ているところからZOOM参加し、  
発表も行いました。

対面を重視しながらも、リモー  
ト体制は諸事情で会場に直接来場  
できない方や会場の規模で参加が  
できなかった方にも参加機会が与  
えられることとなり、また、会場  
の予約の手間や会場経費の削減な  
ど他にもメリットがたくさんある  
ことがわかりました。何より大勢  
の方が気軽に研修に参加すること  
ができることが最大のメリットと  
思います。実施方法の幅が広が  
りました。

課題はありますが、これからも  
いろいろと検討を重ねて研修を実  
施していきたいと思います。お気  
づきの点がございましたらご意見、  
ご希望を寄せて下さい。よろしくお  
願いします。



リモートからの発表

主任児童委員部会  
部会長 清水 秀文

## 事務局からリモート対応について

感染症拡大の影響もあり、急速  
に流行りだした、リモート会議、  
というフレーズですが、県民児協  
にも決して馴染みのあるフレーズ  
ではありませんでした。事務局職  
員もほとんどが全くの初心者でし  
たが、独自に勉強会を行い、無事  
大きなトラブルもなく研修会を終  
えることができました。

リモート会議ができるというこ  
とは転ばぬ先の杖です。対面の会  
議を減らしリモートを増やすので  
はなく、有事の際にもリモート対  
応によって民生委員・児童委員の  
活動を維持できる組織作りに向け  
て、県民児協としても引き続き取  
り組んでまいります。



グループ討議終了5分前の案内をリモートの方へ

# 市町村民児協の

## 課題や改善の取組

新型コロナウイルスによる委員活動への影響など、各市町村民児協はさまざまな課題を抱え、各種の改善が図られています。

4市町村民児協会長から各種課題への改善や取組について、ご寄稿いただきましたので、ご参考にしてください。

なお、改善や取組への問い合わせなどを通じ、各市町村民児協間の交流が深まることを願っています。

### 飯能市民児協

#### 飯能市民児協の新しい取組

―事務局主導から会長会主導へ―

##### ※概況

12単位民児協、167名の委員です。

##### ※課題

今期の改選で新に会長になった方から、自分の民児協での活動や運営方法が他の民児協と比べてどうなのか、間違っていないか、他にもっと良い方法があるのでないか、いか、他の民児協のことを知りたい、という意見が会長会で出ました。

従来の会長会は事務局からの配布資料などの説明と、連絡事項の確認で、特に大きな問題が無けれ

ば終了でしたので、単位民児協での問題を話し合うことはほとんど有りませんでした。

##### ※取組

事務局からの事務連絡が終了後に、全員が一人ひとり自分の民児協での問題点や困りごと、こんな良いことが有ったなど何でもよいので話すことにしました。

最初は大した話も出ませんでした。最近では種々の問題や相談が出てきて、大いに参考になり役に立ち、定例会同様会長会も勉強会の場となってきました。

各会長の話を聞いてみると、それぞれ地域特有の問題もあります。どこにでも起きています。問題も多く、共通する解決策もあり、今後も経験豊かな先輩達の意見が、新任会長達の役に立ち、更に定例会でそれぞれの地域の委員に役立

### 朝霞市民児協

#### 市民に寄り添う朝霞市民児協

##### ※概況

人口約14万人強、6地区164名で構成されています。

障害者部会、児童部会、生活福祉部会、高齢者部会、主任児童委員部会（12名）は、その年の事業計画をたて活動をしています。月一回の会長連絡会では、行政、関係機関からの依頼事項に関する協議、報告等を検討し、月一回の地区定例会にて伝達しています。昨年、

つことになってくれればと願っています。（野口 博巳）

今年とコロナ禍においての訪問を75歳以上、一人暮らし、二人暮らし、避難行動要支援者を対象に、電話対応のチラシを配布しました。ワクチンの予約、接種への同行など喜んでいただきました。

##### ※情報交換

朝霞市は都心に近いこともあり数多くのマンションがあり、若い世代の転入が少なくありません。近所づきあいも希薄のようで、時



電話対応のチラシ

間がないせいなのかも知れませんが、井戸端会議は遠い昔の話です。そんな中での活動は限られており、何かがあつてからの対応にならざるを得ません。民児協では毎年話し合つてはいますが、個人情報もあり結論は出ていません。ただ、高齢者に関してはサロン活動もあり、包括支援センターと定期的な情報交換をしています。

### ※今後の活動

そして、いつものことではありませんが、民生委員・児童委員の確保が難しくなっています。令和4年度、令和7年度は世代交代の時期と考へてはいますが、コロナ禍の今は精神的ゆとりがなくなっており、私たちが民生委員・児童委員の対応はそれぞれです。

寄り添うことを念頭に活動し、少しでも何かのお役に立てればと思っています。(土佐 隆子)

## 鳩山町民児協

### 鳩山町民児協の今できること

民生委員・児童委員33名、主任児童委員2名で構成されています。また、3つの部会が活動しています。

近年のコロナ禍において、訪問活動や部会活動が十分に行えない状況ですが、民児協として「今できること」を考へ活動を行っています。

### ※訪問活動時の工夫

各委員が訪問の際は、名札の着用だけのため、街中でお会いしても民児協であることがわからない場合もありました。そのため、民児協で話し合い、訪問用バッグやビブスを作成しました。今後、訪問時に使用することで、街中でも民児協の存在を認識してもらい、相談などにつながれると感じています。

### ※研修会・定例会の工夫

コロナ禍のため、毎年実施していた視察研修は中止としました。その代わり、町の福祉施策を学び、委員のディスカッションを中心と

した研修を行いました。研修では、多くの委員に発言してもらい、共通の疑問、各種課題の情報を共有し、委員活動へ生かすことができました。

また、定例会では、感染状況に応じた、通常の定例会と書面審議を織り交ぜながら、情報共有などが行えるよう実施しました。

### ※これから

コロナ禍において民児協の活動も変化しています。その中でも、民児協として「今できること」を委員全員で考へ実行していきます。(矢野 幹夫)

## ときがわ町民児協

### 災害支援に取組む、

### ときがわ町民児協

ときがわ町は、都幾川が町内を縦断しています。また、山に囲まれた住宅が多くあります。このたび、当町が新たに作成した詳細なハザードマップによると、洪水浸水想定区域内や土砂災害(特別)警戒区域内に住宅が多くあり、現時点では大きな災害は発生して

りませんが、今後予想される災害発生に備える必要があります。

当民児協では、「民生委員災害時一人も見逃さない運動」に端を発し、避難行動要援護者名簿の作成、要援護者マップの作成、個別避難計画の作成に着手と順次対応してきました。今年度は、要支援者名簿登載者の自宅が危険区域にあるかをマップ上に落とし込み災害時に優先して該当者の避難支援ができるようにしました。「支援者」については、現在名簿登載者454名の約半数でありますので、定例会で先輩民生委員・児童委員の体験談を発表してもらい、それを参考に支援者登録を増やしてきております。

「個別避難計画」の作成については、必要な情報として、「避難先」や「支援者名」、「支援者の連絡先」の登録調整を、各地区民生委員・児童委員で取組んでおります。

全国的に大規模災害が多発している昨今では、災害時に支援を必要としている方に適切に支援ができるよう、これからも行政と連携・協力しながら、地道な活動に努めて行きたいと思えます。

(坂下 浩)

## 事務局紹介

埼玉県民生委員・児童委員協議会は、昭和35年9月に任意団体として発足し、昭和48年3月に財団法人として再発足し法人化しました。そして、平成24年4月から法人名を一般財団法人埼玉県民生委員・児童委員協議会に改めました。県民児協は、令和3年度より4つの新しい専門部会を設置しました。部会それぞれの活動及び部会同士の連携によって、県内全ての民生委員・児童委員の方に成果を還元する事業に、事務局も一丸となって取り組んで参ります。

### ◇ 事務局役職員の紹介 ◇

お世話になっております。



**管理課 主事** 大塚 亮太郎 (研修部会、主任児童委員部会 担当)  
**業務課 主事** 松尾 直子 (広報部会 担当)  
**常務理事** 牧野 文隆  
**管理課 主任** 眞矢 久美 (地区民児協支援部会 担当)  
**事務局 長** 吉田 秀美

引き続き、よろしくお願いいたします！

## Topics

### 民生委員・児童委員って、どんな活動をしているの？

ACジャパン支援キャンペーンにより全国で放映されているCM『隣の委員さん』を見て興味を持った大東文化大学の学生4名が、県民児協へ取材に訪れました。県民児協としての活動や歴史、日ごろの悩みややりがいについて質問を受け、大谷会長・寺田副会長・大野副会長が自身の体験や想いを交えながら受け答えを行いました。また、若い人目線での民生委員・児童委員に対する意見も伺い、「CMを見るまで聞いたことがなかった」といった声を多く受けました。来年度は若い世代への広報活動についても取り組んでまいります。



### ようこそ！川崎市大戸第2地区民児協の皆さん

11月19日（金）川崎市大戸第2地区民児協の皆さんが、研修のため深谷市の渋沢栄一記念館に来館されました。埼玉県民児協が発行した「特集 渋沢栄一翁と社会福祉の足跡を訪ねて〜」が届き余計に興味を沸き、県民児協会長と編集者の方に会い、刊行への想いや経緯を伺いたくなりましたと大戸第2地区民児協の田邊会長は話されました。大谷会長は、全国に配布したところの反響が大きく、増刷しました。より多くの皆さんに読んで頂きたいと述べました。また、寺田副会長は、思った通りの出来映えと、皆さんにたいへん歓迎されていることによりありがたいと話しました。深谷市民児協の河田会長は、地元の血洗島のこと、深谷ネギから煮ぼうとうなどの説明をされました。僅かな時間でしたが大戸第2地区民児協の皆さんと和やかな交流ができました。



### 編集後記

本年も皆さまの活動の参考になりますように広報部会一同、企画、編集して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年は、改選の年です。コロナで民生委員・児童委員、主任児童委員としての活動にフラストレーションを感じる二年が過ぎてしまいました。残されたこの一年が、委員の皆さんにとって有意義な時間となりますように願うばかりです。健康には充分注意して、ともに頑張ってくださいませよう。(寺田 治子)

あけましておめでと  
うございます。

### 「民生委員・児童委員の声」原稿募集中

提出先 一般財団法人  
埼玉県民生委員・児童委員協議会  
広報係宛

今後の予定		
1月		
12日	主任児童委員部会全体会議	すこやかプラザ
20日	正副会長会議	すこやかプラザ
20日	広報部会(企画会議)	すこやかプラザ
26日	研修部会主催研修	すこやかプラザ
2月		
21日	広報部会(編集会議)	すこやかプラザ
22日	正副会長会議	すこやかプラザ
3月		
3日	正副会長会議	すこやかプラザ
9日	広報部会(校正会議)	すこやかプラザ
14日	理事会	すこやかプラザ
22日	評議員会	すこやかプラザ

▼168号は県民会  
児協広報部編集、  
Dチームで校正  
しました。

部会長	寺田 治子
副会長	藤野 美佐子
副会長	志子田 健一
部会長	野口 博巳
部会長	矢野 幹夫
部会長	坂下 浩
部会長	土佐 隆子